



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,548	36.8	821	212.5	831	212.0	569	212.5
2022年3月期第3四半期	4,787	26.0	262	13.5	266	16.1	182	21.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 568百万円 (212.1%) 2022年3月期第3四半期 182百万円 (22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	83.81	83.42
2022年3月期第3四半期	26.37	26.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,672	2,323	63.3
2022年3月期	2,930	1,712	58.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,323百万円 2022年3月期 1,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,847	31.9	962	68.8	972	67.6	647	56.6	95.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 (社名) 株式会社ミント

(注) 詳細は、添付書類P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	7,150,000株	2022年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	331,946株	2022年3月期	375,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	6,790,720株	2022年3月期3Q	6,907,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への影響が縮小しつつあるものの、世界的な原材料価格の高騰に伴う物価高が企業業績や家計に影響を及ぼすなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界は、デジタル庁を中心とした行政によるデジタル化推進やビジネス形態としてリモートワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5G、メタバースなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業の増加などにより中長期的には市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、潜在市場規模が大きくまた参入障壁の高いエンタープライズ系(注1)領域の開拓への注力を継続し、売上規模と利益率の向上に努めております。一方で、顕在化するエンジニア不足に対しては、独自の教育ノウハウによる業界未経験者の早期戦力化、高スキル人材の登用に加え、採用部門の機能強化やビジネスパートナー獲得の活動強化を行い、人材の確保を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,548,115千円(前年同期比36.8%増)となりました。増収に伴い、各段階利益は、営業利益821,275千円(同212.5%増)、経常利益831,909千円(同212.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益569,118千円(同212.5%増)となりました。

(注1) エンタープライズ系

企業の業務システムや情報システム、金融機関、病院、鉄道など大規模かつ社会基盤を支える情報システムなどに含まれ、それらの中心となる制御システムの総称

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、金融、公共や流通向けなどのエンタープライズ系領域の売上高が堅調に推移し、新規大型再構築案件の上流工程・PMO(注2)・QMO(注3)や、大型マイグレーション(注4)案件への参画も増加した他、DX需要を取り込み、Webサービス案件の受注も拡大しました。また、株式会社ミントを2022年4月より新規連結したことも売上高及びセグメント利益の拡大に貢献しております。その結果、外部顧客に対する売上高は5,951,997千円(前年同期比38.7%増)と堅調に推移しました。従来は上半期に偏重していた人材採用を通年採用方針に変更した影響により採用費は増加したものの、増収となったことで、セグメント利益は786,570千円(同158.5%増)となりました。

(注2) PMO (Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

(注3) QMO (Quality Management Office)

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

(注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、アプリ開発やリバースエンジニアリングサービス(注5)の売上高が増加したことに加え、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上高も堅調に推移しました。また前年同期に発生し、利益を圧迫した不採算案件への対応として進めた管理体制強化が実を結び、当期の不採算案件発生はありませんでした。その結果、外部顧客に対する売上高は567,686千円(前年同期比19.6%増)となり、セグメント利益は89,612千円(前年同期は6,828千円のセグメント利益)となりました。

(注5) リバースエンジニアリングサービス

システム操作やソースコードの解読により開発ドキュメント(各種設計書)を作成するサービス

③ オフショアサービス事業

フィリピンでの新型コロナウイルス感染症対策に関しては、ロックダウン後の経済活動の正常化が進んでおり、各社対応を進めております。その中で当事業においては、現地日系企業からの引き合いも増加傾向にあり、外部顧客に対する売上高は28,431千円(前年同期比29.8%増)、セグメント利益は5,396千円(同38.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,671,019千円となり、前連結会計年度末に比べ325,445千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加107,069千円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加153,859千円によるものであります。固定資産は1,001,173千円となり、前連結会計年度末に比べ415,914千円増加いたしました。これは主にのれんの計上等による無形固定資産の増加264,939千円、投資その他の資産の増加163,416千円によるものであります。

この結果、総資産は3,672,192千円となり、前連結会計年度末に比べ741,359千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,307,094千円となり、前連結会計年度末に比べ147,652千円増加いたしました。これは主に買掛金の増加90,694千円及びその他に含まれる預り金の増加54,579千円によるものであります。固定負債は41,099千円となり、前連結会計年度末に比べ17,373千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少14,632千円によるものであります。

この結果、負債合計は1,348,194千円となり、前連結会計年度末に比べ130,278千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,323,998千円となり、前連結会計年度末に比べ611,081千円増加いたしました。これは主に処分等による自己株式の減少23,903千円、親会社株主に帰属する四半期純利益569,118千円の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3%(前連結会計年度末は58.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年11月14日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,533	1,463,603
受取手形、売掛金及び契約資産	911,131	1,064,990
電子記録債権	8,194	8,335
その他	69,714	134,089
流動資産合計	2,345,573	2,671,019
固定資産		
有形固定資産	89,460	77,019
無形固定資産		
のれん	64,077	351,360
その他	133,268	110,924
無形固定資産合計	197,346	462,285
投資その他の資産		
繰延税金資産	156,187	130,265
その他	142,265	331,603
投資その他の資産合計	298,452	461,868
固定資産合計	585,259	1,001,173
資産合計	2,930,833	3,672,192
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,606	266,300
短期借入金	120,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	21,948	21,948
未払金	387,421	412,639
未払法人税等	126,356	135,953
賞与引当金	143,608	94,394
その他	184,502	260,859
流動負債合計	1,159,442	1,307,094
固定負債		
長期借入金	54,747	40,115
退職給付に係る負債	60	66
その他	3,666	918
固定負債合計	58,473	41,099
負債合計	1,217,916	1,348,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	760,431	778,882
利益剰余金	1,067,995	1,637,114
自己株式	△205,097	△181,194
株主資本合計	1,713,329	2,324,803
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△412	△804
その他の包括利益累計額合計	△412	△804
純資産合計	1,712,917	2,323,998
負債純資産合計	2,930,833	3,672,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,787,072	6,548,115
売上原価	3,575,497	4,607,851
売上総利益	1,211,574	1,940,264
販売費及び一般管理費	948,732	1,118,988
営業利益	262,842	821,275
営業外収益		
受取利息	12	13
助成金収入	5,990	9,104
為替差益	—	1,806
その他	556	1,176
営業外収益合計	6,558	12,100
営業外費用		
支払利息	1,327	1,158
支払保証料	308	308
為替差損	453	—
自己株式取得費用	670	—
営業外費用合計	2,759	1,466
経常利益	266,641	831,909
特別損失		
固定資産除却損	—	1,092
特別損失合計	—	1,092
税金等調整前四半期純利益	266,641	830,816
法人税、住民税及び事業税	67,820	228,253
法人税等調整額	16,678	33,444
法人税等合計	84,499	261,697
四半期純利益	182,142	569,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,142	569,118

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	182,142	569,118
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	69	△392
その他の包括利益合計	69	△392
四半期包括利益	182,211	568,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,211	568,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月27日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役及び当社の従業員並びに当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式24,156株を処分いたしました。また、ストックオプションの権利行使に伴い自己株式20,000株を処分いたしました。この処分等により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が18,451千円増加、自己株式が23,903千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が778,882千円、自己株式が181,194千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式の全てを取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、株式会社ミントは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,290,646	474,517	21,907	4,787,072	—	4,787,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,676	102,215	36,998	154,890	△154,890	—
計	4,306,323	576,733	58,905	4,941,962	△154,890	4,787,072
セグメント利益	304,340	6,828	8,810	319,978	△57,136	262,842

(注) 1. セグメント利益の調整額△57,136千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△1,966千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△55,170千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,951,997	567,686	28,431	6,548,115	—	6,548,115
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,666	149,717	39,082	197,466	△197,466	—
計	5,960,663	717,403	67,514	6,745,581	△197,466	6,548,115
セグメント利益	786,570	89,612	5,396	881,578	△60,303	821,275

(注) 1. セグメント利益の調整額△60,303千円は、セグメント間未実現利益の調整額等2,216千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△62,520千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ミントの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、当第3四半期連結累計期間においてソフトウェアテストサービスセグメントののれんが290,843千円増加しております。